

読売新聞 きょう（2月26日）のイチ押し

1面 イベント 1万人に緩和へ

政府は、新型コロナウイルス対策として10都府県で発令中の緊急事態宣言の解除後、大規模イベントの参加人数制限を段階的に緩和する方針を固めました。宣言対象区域で最大5000人だった上限を1万人まで緩和する方向で調整しています。宣言解除から1か月後をめどに、さらに「収容定員の50%以内」まで緩和することも検討しています。

- ★ 全世界からの新規入国の停止措置は3月7日に宣言を全面解除した後も当面継続する方針です。
- ★ 大阪、京都、兵庫、愛知、岐阜の5府県については、月内での宣言解除を26日に決めます。福岡は病床使用率の改善が顕著ではなく、先行解除が可能か慎重に検討しています。

社会面 農水次官ら6人処分

農林水産省は25日、吉川貴盛・元農相と大手鶏卵会社「アキタフーズ」前代表が在宅起訴された贈収賄事件を巡り、2人が同席する会食に参加していた枝元真徹次官ら6人を減給や戒告などの処分としました。

- ★ 1回1人2万円余りの飲食費は前代表側が負担していて、利害関係者からの接待を禁じた国家公務員倫理規程に違反すると判断しました。
- ★ 野上農相は、25日夜の記者会見で陳謝し、大臣給与1か月分を自主返納すると表明しました。

他紙と比べて

聖徳太子の1400年遠忌（おんき）を記念し、奈良国立博物館が、特別展「聖徳太子と法隆寺」を、同博物館と東京国立博物館で巡回開催することになりました。国宝の「薬師如来坐像（ざぞう）」や「玉虫厨子（たまむしのずし）」など約170点が展示されます。文化庁・宮内庁・読売新聞社が取り組む「紡ぐプロジェクト」の一環です。同展で展示される「聖徳太子立像」の内部には、6センチ強の菩薩（ぼさつ）像が収められていることも判明し、社会面でX線写真と共に報じました。